



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年10月28日
福島市立金谷川小学校
児童数 81名
校長 宍戸 与一

大 成 功 ！ ！ みんなでつくったから開催できた運動会

年度当初、“運動会、なんとか開催できないものか”と、強く思っていました。しかし、目の前には高いハードルがありました。感染予防をどうするのか、どんな種目にするのか、保護者の観戦はどうするのかなど、校内で何度も話し合いました。でも、学校だけではできません。金谷川小のよさ「小規模で自然豊か、そして家庭や地域に多くの応援団がいる」ことを生かせれば……。ありがたいことに、地区と合同で実施することとなりました。子ども、学校、家庭、地域が力を合わせて、感染予防策をしっかりと行いながら、運動会を開催することができました。練習の成果を発揮し、互いに励まし合いながら競技をする子どもたちに心から拍手を送りました。どんな状況でも全力を尽くす金小の子どもたち。保護者の皆様の温かいご声援に十分応えられたのではないかと思います。



運動会をとおして、子どもたちは充実感や達成感を味わい、また一回り大きくなりました。運動会で高まった力をこれからの様々な教育活動をとおしてさらに高められるよう指導にあたります。

当日の検温・消毒・3密の回避にご協力をいただきました保護者の皆様、地区の皆様から心から感謝申し上げます。準備・後片付けにもご協力いただき、本当にありがとうございました。



「胸が熱くなりました」

ある方から次のようなお話をいただきました。「鼓笛演奏。圧巻でした。胸が熱くなりました」と。春の鼓笛パレードがなくなった後も、昼休みなどを使いながら、ずっと練習を続けてきた子どもたち。活動の制限があっても、できることに精一杯取り組み、その活動の過程も大切にやりきったことに、頼もしさとたくましさを感じました。いつも支えてくださっている保護者の皆様のご支援に感謝です。